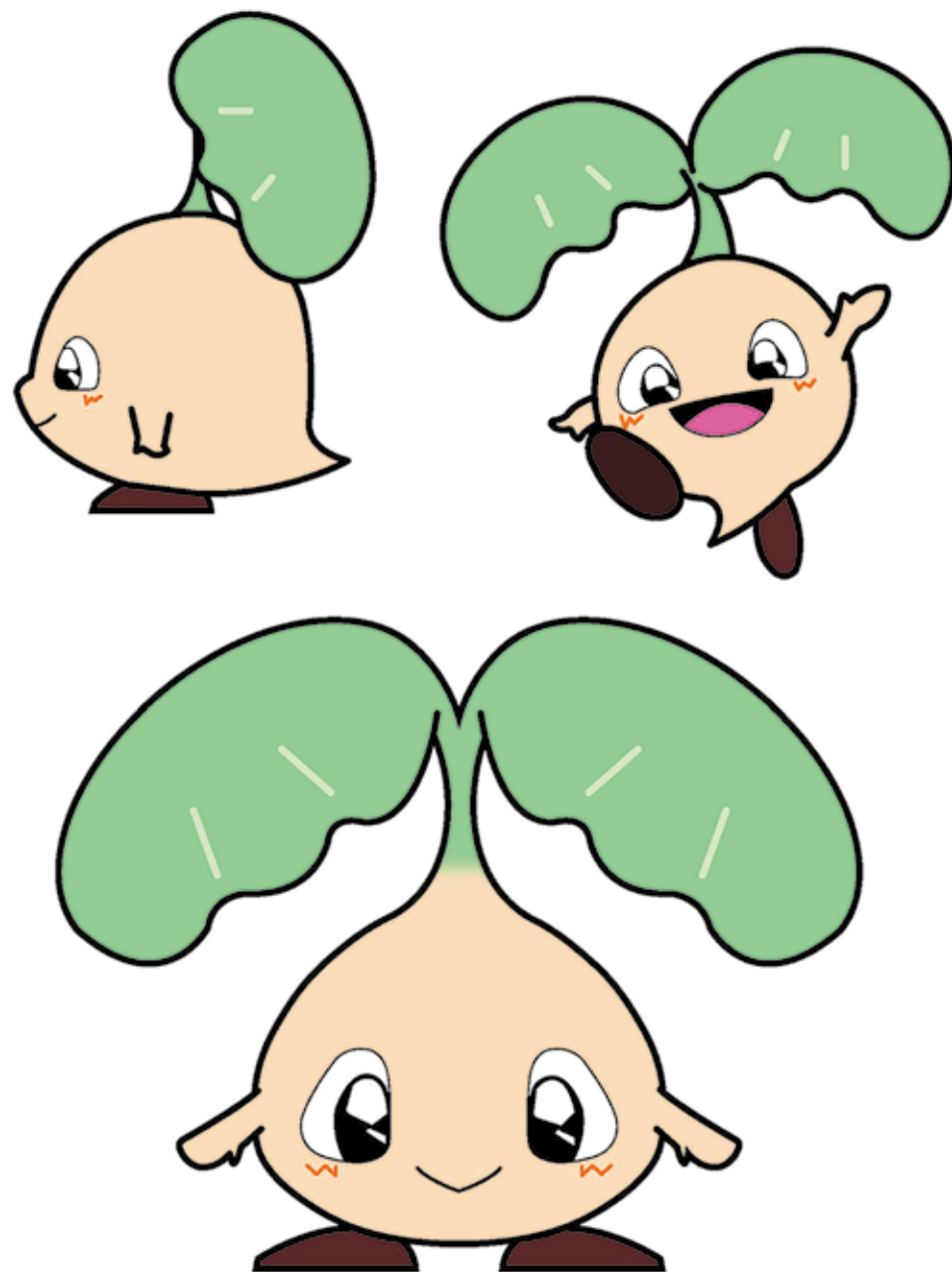


■名古屋市腎友会のマスコットキャラクター紹介

ジンミちゃん

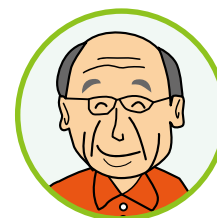


♥作 者／米田百花(よねだ ももか)さん 名古屋デザイナー学園学生

♥デザインコンセプト／

患者さん一人一人に「親身」になりたいという思いと名古屋市腎友会の皆さんが守りたいとしている「生命と暮らし」を表した若々しい「新芽」を掛け、腎臓の「腎」の音をとって「ジンミ」と名付けました。コンセプトは「繋がり」です。ジンミのモデルは発芽した新芽なのですが、腎臓を頭部の二枚の葉、尿管を茎、膀胱を身体(種子)で表しています。腎臓のみではなく他の臓器との繋がりや人同士の繋がりも大切だと思いこのコンセプトを意識しながら制作しました。

かわいく「ジンミちゃん」と呼んでください。



名古屋市腎友会が透析患者のために作る

患者のひろば

vol.12



■2022 年 鈴木則子会長 年頭挨拶



新年、明けましておめでとうございます。

昨年4月、NPO 法人名古屋市腎友会会長に就任いたしました鈴木則子でございます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

会員の皆様には、日頃より当会へのご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

名古屋市腎友会は、透析患者の命と暮らしを守り、充実した透析生活をおくるため、愛知県腎臓病協議会と共に活動をいたしております。

名古屋市への陳情活動は、平成15年より毎年「陳情書」を名古屋市長に提出し、名古屋市役所にある名古屋市健康福祉局と意見交換しており、また慢性腎臓病の予防に向けた「CKD(慢性腎臓病)講演会」を各区内で開催し、一般市民向けの「市民公開講座」も毎年開催してまいりました。不定期になりますが、透析患者を対象とした「医療講演会」、「クッキングセミナー」も開催しています。

しかし、1年前からの「新型コロナウイルス感染症拡大(コロナ禍)」における度重なる自粛により、講演会などの活動が中止となりました。特に、昨年8月からの新型コロナウイルスの第5波では、感染者が急増し、非常に苦しく不安の日々を余儀なくされ、皆様においても多大なるご苦勞があったかと存じます。このコロナ禍に対して、昨年11月には、名古屋市に対しての陳情には、感染症対策を含む7項目について要望してまいりました。

昨年暮れには、全国的に感染者数が減少し、日々の生活に戻るのかと思いましたが、新たな新型コロナウイルス変異株である「オミクロン株」が日本でも発症者が出はじめ、まだまだ予断を許さない状況です。

今年も、名古屋市および名古屋市議員団への要望活動を行うとともに、機関誌「患者のひろば」発行や講演会を開催し、身近な生活に役立つ情報を提供して参りたいと考えております。

皆様におかれましても、引き続き「三密(密閉・密集・密接)」を避け、マスク、手洗いに心がけていただき、感染防止に努めていただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和4年が皆様にとって健やかな1年となりますことを祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

NPO 法人名古屋市腎友会

代表理事 鈴木則子



名古屋市へ陳情書及び署名集を提出しました。

令和3年11月18日（木）午前11時から名古屋市役所本庁舎2階の健康福祉局会議室にて、例年どおり名古屋市への陳情を行いました。7月から愛腎協の会員の皆様のご苦勞されて集めて頂いた河村たかし名古屋市長宛の陳情署名と陳情書を提出し、内容についての質疑応答を行いました。（名古屋市への陳情は平成15年より名古屋市腎友会によって毎年行っており、陳情の受付・回答窓口は名古屋市役所の名古屋市健康福祉局となっています。）

■陳情署名集計結果／1094枚、5569筆

■参加者／◎仲介役／加藤一登（名古屋市議員）◎名古屋市腎友会／鈴木則子（会長）（大幸砂田橋クリニック）、今井隆夫（副会長）（偕行会城西病院）、松浦一英（副会長）（天野記念クリニック）、森田順子（移植患者）、井上誠司（偕行会セントラルクリニック）◎愛知県腎臓病協議会／伊藤寿男（会長）（平針記念クリニック）◎名古屋市（名古屋市健康福祉局）／山田俊彦（健康福祉局長）、山内加奈子（障害福祉部長）、大脇千鶴（障害企画課長）、土方伸司（保健医療課長）、片岡拓也（コロナ担当）、原優介（コロナ担当）◎司会／守屋悟（障害企画課係長）、他書記1名



陳情書と署名集を提出する
右から山田局長、加藤市議会議員、鈴木会長

★陳情内容と名古屋市からの回答

（1）重度心身障害（児）者医療費助成制度に対する市単独事業の継続をお願いします。

★回答：本市の障害者医療費助成制度につきましては、医療費に係る経済的支援策として必要な制度と考えております。引き続き国・県の動向を注視しつつ、障害者（児）福祉予算には十分に配慮してまいりたいと考えております。

要望①：所得制限基準額を世帯所得ではなく、本人所得でお願いします。

要望②：年齢制限を設けないでください

★回答：所得制限につきましては、医療費助成が経済的支援を目的とした制度であることから一定以上の所得のある場合には一般の方と同様に健康保険の自己負担をお願いしているものですので、ご理解ください。なお、本市の医療費助成制度においては、所得算定基準を個人所得としております。また、年齢制限は設けておりません。

（2）自立支援医療（更生医療）の継続をお願いします。

★回答：自立支援医療（更生医療）の給付については、国の制度である障害者総合支援法に基づき、実施しているところです。引き続き、本市としては腎臓機能障害のある方の人工透析など必要な医療給付を行ってまいります。

（3）透析患者の運動不足からのQOL（クオリティ・オブ・ライフ）低下を予防するために、医療機関における運動療法の指導体制の推進して頂くようお願いします。

要望①：名古屋市主催で透析中の運動療法（下肢エルゴメーター、ストレッチ、チューブ運動等）指導が看護師、スタッフができるように医師、理学療法士指導による「講習会」の実施をご検討をお願いします。

★回答：透析中の患者への運動療法指導ができる看護師、スタッフの人材育成講習会については、法や要綱、各計画に基づく一般的な健康づくりとは異なるため、患者の実態を知る透析を行う医療機関や理学療法士会等、医療を専門とした職能団体での実施が望ましいと考えます。なお、本市では、65歳以上の方を対象に、高齢者はつつ長寿推進事業や福祉会館認知症予防事業など、高齢者の運動や社会参加促進の取り組みを実施しております。また、要支援1・2の方などを対象に、ミニデイ型、運動型通所サービスを実施することで、フレイルの予防・改善を推進しております。透析患者様におかれましても、主治医とご相談のうえ、ご活用いただければと存じます。

要望②：運動療法（腎臓リハビリテーション）が保険適用できるように厚生労働省に要請を希望します。

★回答：腎臓リハビリテーションの保険適用について、厚生労働省への要望を検討してまいります。

（4）歩行に障害がある透析患者を無料送迎している施設への助成制度を考えてください。

要望①：車椅子患者の無料送迎を大人数に行っている透析施設への助成制度を考えてもらえないでしょうか？

★回答：歩行に障害がある透析患者の通院にかかる支援として、本市では重度障害者福祉タクシー利用券の年間120枚交付、障害福祉サービス（通院等介助、通院等乗降介助、重度訪問介護、同行援護、行動援護）及び移動支援（診察中や医療の提供を受けている間を除く）、介護保険制度の通院・外出介助（原則として院内介助を除く）と通院等乗降介助を実施しております。保険診療が適応されない透析患者の無料送迎を行っている透析施設への助成制度については、困難と考えております。ご理解賜りますようお願いいたします。

（5）重度障害者福祉タクシー券と福祉特別乗車券などの交通助成についてお願いがあります。

要望①：重度障害者福祉タクシー券の枚数 120枚の現状維持と相乗りタクシー制度解禁後に利用できるようにお願いします。

★回答：本市では公共交通機関を利用することが困難な重度障害者の方を対象として、その社会参加の促進を図るためタクシー料金助成事業を実施しております。人工透析患者で週3日以上通院される方々に対しては、特段の配慮といたしまして、タクシー利用券を年間120枚交付しているところであり、引き続き制度の維持に努めてまいります。また、本市の重度障害者タクシー料金助成事業におきまして、相乗り制度は課題もあることから、引き続き相乗りタクシー制度の動向と他都市の状況の把握に努めてまいります。

要望②：横浜市のように「障害者自動車燃料券の交付」を追加して、「重度障害者福祉タクシー券」と「福祉特別乗車券」の3助成から1つを選択できるような制度の検討をお願いします。

★回答：現在、本市ではガソリン代補助を実施する予定はありませんが、引き続き他都市の状況の把握に努めてまいります。

（6）感染症に弱い透析患者が重篤化・死亡しないように名古屋市独自の感染症対策を打ち出してください。

要望①：減圧隔離病床を1床配備および個人用人工透析機1台配備に対する透析施設への助成制度設立を希望します。

★回答：新型コロナウイルス感染症対策にかかる陰圧対応可能な設備の整備に関しては、愛知県において、必要な設備購入費等について診察・検査医療機関に対し補助する制度を運用していると聞いております。

要望②：感染症対策センター（病院）の建設を希望します。（◎約200床の入院治療・透析治療可能（中・重篤者）◎感染症患者を一括管理できるようにセンターと他の病院との連携部署有 ◎名古屋市の感染症相談担当部署有）

★回答：新型インフルエンザ等対策特別措置法において医療の提供体制の確保を担う愛知県や各医療機関と連携して、新型コロナウイルス感染症に対応する病床の確保をはじめ必要性に応じた医療提供体制の整備に努めてまいりますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

要望③：感染症ワクチンの透析患者優先接種を希望します。

★回答：新型コロナウイルスワクチンの接種に関しては、国の定める接種順位に基づき、基礎疾患のある方については、優先的に接種を受けることができるよう、本市独自の取組として、65歳未満の難病患者の方及び障害者の方へ他の市民の方より先行してクーポン券を発送し、また優先予約期間を設定するなどの対応を行ってきました。なお、追加接種（3回目接種）を実施する場合、その実施の時期は2回接種完了から概ね8か月以上後とすることが妥当とされていますので、個人の状況に応じて異なります。

要望④：感染症ワクチンの国内開発を推進するように厚生労働省に要望してください。

★回答：新型コロナウイルスにかかる国産ワクチンの研究開発の促進、国内でのワクチン生産体制の強化について、これまでも指定都市市長会等を通して要望しており、今後も引き続き機会をとらえ要望してまいりたいと考えております。

（7）大規模災害に備え透析患者の命を守る環境を作ってください。

★回答：大規模災害時において透析患者の医療を確保することは、命に関わる非常に重要な課題と認識しております。

要望①：災害後に透析施設が早期稼働できるような整備をお願いします。（電気、水道等）

★回答：透析医療機関への給水に関しましては、本市が管理する上水道の配水管について、既に耐震化を実施しております。電力につきましても、中部電力株式会社の変電設備や送電設備について様々な耐震化対策が施されているとともに、被害を受けた場合については、人命にかかわる病院を優先して復旧することが地域防災計画に定められております。このほか本市では、災害医療活動拠点となる医療機関の自家発電装置向け燃料について、愛知県石油協同組合と燃料供給に関する協定を締結しております。

要望②：避難所での透析患者への対応の徹底（透析をしなければ透析患者は死んでしまうことの事実の周知徹底）

★回答：避難所での透析患者への対応につきましては、避難所における透析患者の状況等の情報把握に努めるとともに、愛知県透析医会の協力も得ながら、透析医療機関の受入状況や透析医療機関とそこに至るまでの交通手段に関する情報を避難所に掲出するなど、市民向けに情報提供を行うこととしております。

要望③：透析患者の透析ができるような場所への移送対応。

★回答：広域で大災害が発生し、市域だけでは患者の受入が困難となった場合には、県や自衛隊等と連携し、被害の無い地域への移送を行うこととなっています。

要望④：東京都福祉保健局が作っている「災害時における透析医療活動マニュアル」のようなものを透析医会と協力して名古屋市で作成していただき透析患者および透析施設に配布を希望します。インターネットでも可。

★回答：災害時における透析医療活動マニュアルにつきましては、東京都のマニュアルも参考にしつつ、透析医会のご意見を伺いながら検討してまいります。